

開会あいさつ

3月議会定例会の開会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

議員各位には、ご多用のところご出席いただき、本日から3月13日までの会期、日程をご決定いただきましたこと、厚く御礼を申し上げます。

令和8年度は、人口減少の進行、物価高騰の長期化、そして社会構造の変化など、先行きが見通しにくい時代のただ中で迎える一年であります。

国においては第二次高市内閣が発足し、責任ある積極財政の下、少子化対策の強化や国土強靱化の再構築が進められ、国の予算審議も本格化して参りました。また、長野県においても阿部長野県知事は全国知事会長として国と連携した政策を打ち出しており、以前にはないスピードで事業が進行しています。町としても、国や県の動きにしっかりと対応できる体制を作ってまいります。

このような時代だからこそ、私は町政運営の基本姿勢として、

「対話」と「寛容」を何よりも大切にしていきたいと思います。

多様な意見があることは、地域にとって健全な証であります。立場の違いを乗り越え、互いを尊重しながら議論を重ねることこそが、持続可能なまちづ

くりの土台になると信じております。

本定例会では、令和8年度当初予算を中心にご審議をお願いすることとなります。当初予算は、派手さよりも着実さを重んじ、緊急財政対応機関の最終年度として、町民の暮らしを守りながら未来への責任を果たすことを基本に編成いたしました。

なお、予算の具体的な内容や重点施策の詳細につきましては、この後申し上げます施政方針の中で、体系的にご説明申し上げます。

本定例会に提案します案件は、条例改正案等5件、契約議案1件、指定管理者の指定議案1件、補正予算案4件、

令和8年度予算案6件の計17件であります。

ご審議、ご決定をいただきますようお願いを申し上げまして、開会にあたってのごあいさつといたします。